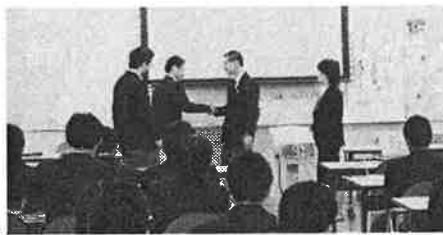


寸劇で知財学ぶ

前橋工業高校が特別授業



校生版を採用し、生徒4人が寸劇を演じる形式（写真）。仲間の演技に高校生らは興味を寄せていた。

群馬県立前橋工業高校 国際特許商標事務所（前橋市）が協力。羽鳥巨所は、地元の弁理士の協力を得て知的財産の特別授業を行った。日本弁理士会が企画した特許エントラメントセミナーの高

機械科2年生の実習授業の約2時間半を使い、羽鳥の約2時間半のドラマを演じ、羽鳥所長が解説を加えた。寸劇を演じた生徒たちは「緊張した」「普通の授業より楽しかった」と楽しんだ様子。村田敬二校長は「生徒たちが他人に現れた類似商品メーカー、係争のレフェリー役と生徒4人が係争と和解のドラマを演じ、羽鳥所長が解説を加えた。寸劇を演じた生徒たちは「緊張した」「普通の授業より楽しかった」と楽しんだ様子。村田敬二校長は「生徒たちが他人

のアイデアを大事にすることを学んでくれたので」と話していた。今回のセミナーは、弁理士会が4月以後に計画している高校生向けのテキスト版。寸劇の模様はビデオ撮影しており、補充教材としての利用を考えているという。（前橋）